

2016年3月9日

公開報告会「新型 CAPI 調査が開く新しい社会調査の地平」
—2015年階層と社会意識全国調査（第1回 SSP 調査）の成果報告—

主催：SSPプロジェクト

<http://ssp.hus.osaka-u.ac.jp/>

共催：統計数理研究所調査科学研究センター

<http://www.ism.ac.jp/noe/survey-center/>

2015年第1回SSP調査の公開報告会を下記の日程で開催いたします。CAPI方式で行われた全国調査の成果をご紹介します。奮ってご参加下さい（予約不要）。

記

開催日時 2016年3月18日（金）15時00分～17時00分

場所 統計数理研究所 セミナー室1

〒190-8562 東京都立川市緑町10-3

http://www.ism.ac.jp/access/index_j.html

※お問い合わせ，SSPプロジェクト事務局（E-mail: ssp_project@hus.osaka-u.ac.jp）

プログラム

15:00～15:05 開会挨拶

15:05～16:35 第1回SSP調査の概要と結果紹介：下記9件の発表で構成。

1. 「第1回SSP調査の概要」 前田忠彦（統計数理研究所）・吉川 徹（大阪大学）
2. 「社会意識の新しい生年世代差」吉川 徹（大阪大学）
3. 「「中」意識から「上・下」意識へ」 谷岡 謙（大阪大学）
4. 「働き方と主観的Well-Beingの変容」 橋爪裕人（大阪大学）
5. 「若年層における現在志向の時点間比較」狭間諒多朗（大阪大学）
6. 「社会意識と主観的健康の基礎的分析」大久保将貴（大阪大学）
7. 「都市規模が市民参加に与える影響」 平松 誠（大阪大学）
8. 「変わるジェンダー意識」 吉川 徹（大阪大学）
9. 「ポスト55年体制期における政治文化の時点間比較」伊藤理史（大阪大学）

16:35～17:00 総括質疑

※1件あたりの時間は10分程度です。質疑応答は最後にまとめます。